

南方占領地(ビルマ)の孔雀加刷カバー

川原 啓一郎

ビルマの孔雀加刷概要については「かごっま」第309号を参照して頂くとして、今回は孔雀加刷された切手を貼付したカバー2通を紹介する。

この孔雀加刷貼りのカバーの大半はフィラテリック・カバーで、土屋理義氏によると KYON PYAW (キョンピャウ) の収集家 Lim Peng Hong (本名 Aung Myint, 1913~2003) が自分宛てに出したカバーが典型とされており、展示の2通もそれである。

①はミョーンミヤ局II型を使用し、黒加刷でジョージ6世の肖像を抹消している。消印の日付は読みにくいものも多く、このカバーのように手書きされたものも見られる。

②はヘンザダ局V型にて、青加刷でジョージ5世の肖像を抹消している。裏面の消印により日付は1942年8月25日と読める。

占領ビルマの郵便料金は1942.6.1~同10.14の間、封書は12グラムまで 1anna=12pies であった。

